

「雨ニモマケズ」は、宮沢賢治が自身の手帳に書き記した文章で、今も多くの人を励まし、勇気づけています。

その「雨ニモマケズ」をさまざまな表現方法で朗読する大会が、本市で開催されています。この大会は、朗読を通して宮沢賢治の精神を味わうとともに、現代に生きる我々の「生きる方向性」を考える機会として、同大会実行委員会が平成16年から開催しています。

1月13日には、なはんプラザで第15回大会が開催され、15組の出場者が歌や踊り、外国語などのパフォーマンスを交えて、それぞれが思い描く「雨ニモマケズ」を表現しました。今大会で大賞に輝いたのは、本市在住の菅原亜紀子さん。情感豊かに一字一句心を

賢治まのまつり

第111回



▲第15回大会で大賞に輝いた菅原亜紀子さん

込めた朗読で、観客の心を掴みました。

第2部では「賢治さんといっしょに」と題して、盛岡市出身の歌手でバイオリンストの絵美夏さんがラテンハープで「星めぐりの歌」などを披露。ラテン調の軽快なリズムが会場に響き渡りました。

賢治が「雨ニモマケズ」に込めた意味に思いを巡らせながら、出場者の工夫を凝らした表現を楽しむことができる同大会。次回大会ではどんな世界観の「雨ニモマケズ」が披露されるのでしょうか。

【大会に関する問い合わせ】
同大会実行委員会事務局(☎090-6454-3210)

【問い合わせ】
本館賢治まちづくり課
(☎41-35991)

接種を希望する人はお早めに

新型コロナワクチン接種 自己負担なしの接種は3月31日まで

新型コロナワクチンの接種は、令和5年秋開始接種として令和5年9月20日から令和6年3月31日までの期間に1人につき1回、無料で受けることができます。

主にファイザー社のワクチンを使用して接種を行います。ご自分の接種日に使用される

ワクチンの種類は、予約時にご確認ください。

* 来年度以降の新型コロナワクチン接種の方法や費用負担などについては決まり次第、広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします

■接種を希望する人は、予約するときに接種案内が必要です

- ・生後6カ月～4歳
- ・65歳以上の人
- ・基礎疾患があると市に届けたことがある人

すでに接種案内を送付済みです。秋開始接種を受けていない人で接種を希望する人は、接種案内に記載の方法でワクチン接種の予約を行ってください。

5～64歳の人

接種を希望する人にも接種案内を送付します。下記の申請方法により申請をしてください。接種案内が届いたら、接種案内に記載の方法でワクチン接種の予約を行ってください。

《申請方法》

- ①市ホームページ内申請フォームから申請
- ②電話(健康づくり課)

☎41-3605(月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分)



■新型コロナワクチン接種の予約方法

① 専用ウェブサイト	[URL] https://g032051.vc.liny.jp	
② LINE(ライン)アプリ	[URL] https://covid19.liny.jp/032051	
③ 健康づくり課に電話	☎41-3605(月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分)	
④ 病院受診時に予約	かかりつけ医などの病院を受診した際に予約ができます	
⑤ 医療機関に電話	電話予約が可能な医療機関に限ります	

* 2月以降は接種日程および接種できる医療機関を縮小して新型コロナワクチン接種を実施しています。ご不明な点は健康づくり課(☎41-3605)へご相談ください

花巻市シニア大学新入生を募集します!

【問い合わせ・申し込み】まなび学園(☎23-4234)



年間を通して趣味や教養、地域の魅力を学ぶほか、運動会などの全体行事や移動研修、ボランティア活動なども開催予定。仲間づくりをしながら、楽しいシニアライフを送りませんか。

■対象 令和6年4月1日現在60歳以上で、年間を通じてまなび学園に通学できる市民

■学習日数 年間約18日

■会場 まなび学園ほか

■定員 30人(抽選)

■参加料 無料(教材費や見学料などは自己負担)

■申込期間 2月15日(木)～3月15日(金)
※申し込み方法など詳しくはまなび学園(☎23-4234)へ



グラウンドゴルフ大会の様子



まなび学園祭の様子

世界と花巻

vol.112

4年ぶりに開催「国際フェアinはなまき2023」

12月10日、なはんプラザで「国際フェアinはなまき2023」が開催され、青少年海外派遣研修事業の成果発表や多文化共生についての講演会などが行われました。

成果発表では、生徒たちがホームステイや学校訪問での体験談、現地で学んだ文化や慣習などを写真を交えて発表。来場者から、ホストファミリーの家でどんなお手伝いをしたかなどの質問があり、活発に質疑応答が行われました。

講演会では「『やさしい日本語(*)]で多文化共生の地域づくり」と題して、自治体国際化協会国際化推進アドバイザーの須藤伸子さんにお話いただきました。講演の後は、来場者がグループに分かれ「やさしい日本語」を使って会話をする時間が設けられたほか、外国人市民に花巻での暮らしに関するインタビューも行われ、



①青少年海外派遣成果報告の様子②講演会の様子③ピクセルボールのラケットとボール(米国ホットスプリングス市に本社がある「タナーズ」社製。同市への姉妹都市提携30周年記念市民ツアーの際に寄贈いただきました)

交流や外国人市民の生の声を聴く「体験」を通して多文化共生を考える機会となりました。

このほか、バンド演奏などのステージイベントや、米国発祥のニュースポーツ「ピクセルボール」、工芸絵付けの体験なども行われ、大人から子どもまで多くの来場者が楽しみました。

*外国人が、易しく理解できるように、優しい気持ちで書き換えた日本語